

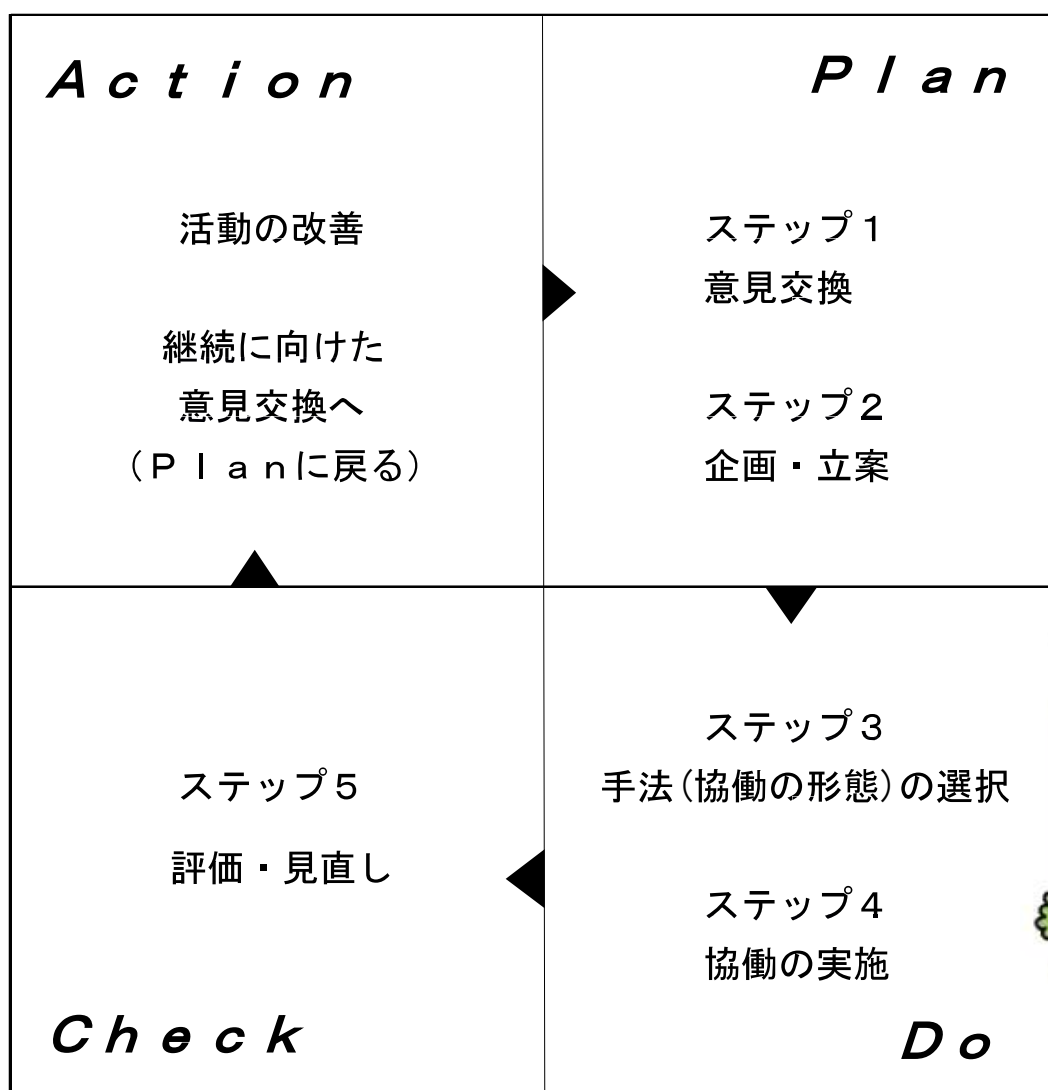
第3章 協働の進め方

❖ 1. 協働の進め方

協働を進める過程には、「意見交換」「企画・立案」「手法(協働の形態)の選択」「協働の実施」「評価・見直し」の5つのステップがあります。

図3を参考にしながら、協働が最も効率的、効果的に実施できるように意識して進めていきましょう。

◆協働のステップのイメージ(図3)



※まずは、あま市市民活動センター(通称:あまテラス)へご相談ください。

※協働を進めるにあたっては、Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)のPDCAサイクルを繰り返すことで実効性を高めましょう。

❖ 2. 各ステップについて

① ステップ1「意見交換」

行政や市民活動団体が社会的課題・地域課題を共通認識として持ち、解決していくための意見や情報の交換を積極的に行い、相互の理解を深めましょう。

チェックリスト

1	それぞれの立場や特性を理解するために積極的なコミュニケーションをとれていますか	
2	互いの違いを尊重し、信頼関係を築けるよう努められていますか	
3	目的や成果目標、現状の課題認識について共通の認識を持っていますか	
4	お互いにやりたいことのみでなく、誰のための事業か話し合えましたか	

② ステップ2「企画・立案」

ステップ1「意見交換」の内容をふまえて、事業内容が協働に適しているかどうかを検討しましょう。

事業内容の方向性が決まったら、その事業が最も効率的かつ効果的に実施できるような協働相手の検討をしましょう。

協働相手が決まったら、役割分担をどうするのかなど、協働の中身について明確にしていくことが重要です。

チェックリスト

1	協働で取り組む意義や効果のある企画になっていますか	
2	課題や目的に適った企画か双方が確認しましたか	
3	社会的立場や資金に関わらず、対等なやりとりができていますか	
4	実現に向けた企画を共有できていますか	
5	申請書類の作成、提出など、企画の実行に向けた流れは確認できていますか	

③ ステップ3「手法(協働の形態)の選択」

協働の事業手法は、次の5項目があります。

各手法を十分に理解して、ステップ2「企画・立案」で検討した内容に適した、協働の手法を選択していくことが重要です。

手法の選択	(1) 後援	P 10. 11
	(2) 事業協力	P 12. 13
	(3) 実行委員会	P 14. 15
	(4) 補助	P 16. 17
	(5) 委託(協働型)	P 18. 19

チェックリスト

1	適切な協働の手法を選択していますか	
2	それぞれ何ができるか話し合い、役割と責任の分担を確認できましたか	
3	経費負担や資金の管理方法について同意はとれていますか	

④ ステップ4「協働の実施」

協働相手とコミュニケーションを取りながら、常に協働の基本原則を意識して事業を進めましょう。

チェックリスト

1	各々が強みや得意分野を活かして実施できていますか	
2	計画時の役割や責任の分担に基づいて取り組んでいますか	
3	必要に応じた役割分担の調整など、実施体制を見直す機会は持っていますか	
4	事業に関わる一人ひとりが、主体的、自立的、積極的に参画できていますか	
5	経費負担や資金管理において問題は起きていませんか。変更が必要な場合、話し合いや情報共有を密に行えていますか	

⑤ ステップ5「評価・見直し」

協働事業を実施したら、協働のプロセスを振り返りましょう。次の協働につなげられるように、双方が協働の実施結果を評価・見直しすることで、改善点が見えてきます。

また、事業の振り返りは、双方の事業改善につながります。実績報告書等の成果物は、団体としての実績として残ります。

チェックリスト

1	目的、目標に沿った事業が実施できましたか	
2	適切な協働の手法の選択、実施体制の構築ができましたか	
3	協働の意義を実感できる事業となりましたか	
4	一部の関係者だけでなく、参画者すべての声を聞く振り返りができていますか	
5	他者からの評価を受けましたか	
6	事業の改善点を共有できましたか	
7	著作権や個人情報の保護を遵守できましたか。守秘義務の重要性を意識した活動ができましたか	
8	実績報告書などによる成果の報告は完了していますか	